

(4) 年間事業計画

会員資質向上委員会 年間事業計画

担当 委員会	人財育成 会員資質向上委員会	基本方針
委員長 副委員長 委員	水森 等紀 太田 佳祐 恒本 浩志	

委員長方針

明るい豊かな社会を実現するためには、地域や住民から共感を得られる、魅力的な人財が集まる組織でなければなりません。そのためには、自分の価値観だけで物事を決めつけず、あらゆる機会を成長の場と捉え、目的を持って接していくことが大切だと考えます。今一度、先輩諸兄から受け継いだ歴史ある伝統を継承し、会員一人ひとりが己の成長に励み、より良い自分になることができれば、我々の活動・運動が地域や住民から共感を得られ、社会により良い変化をもたらすことができます。

様々な考え方や価値観に触れ、自分の価値観を見つめ直すと共に、青年会議所のあらゆる機会を成長の場と捉え、会員同士の信頼と友情を深めることで主体的に行動できる人財を輩出していきます。

<事業計画及び予算>

- 事業名 2月度例会の企画・運営

目的 創始の精神に触れ、自分の価値観を見つめ直すことで、JAYCEEとして今後の活動や運動の活力とする。

予定と方法 (1) 2月
(2) 種別・その他事業

予 算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	100,000	一般会計	100,000
	合計	100,000	合計	100,000
- 事業名 7月度例会の企画・運営

目的 新たな考え方や価値観に触れ、自分の価値観を見つめ直す機会とする。

予定と方法 (1) 7月
(2) 種別・公益事業(公1)

予 算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	1,600,000	一般会計	1,600,000
	合計	1,600,000	合計	1,600,000
- 事業名 新入会員の指導

目的 三信条を通して、自覚と責任を持った会員を育成する。

予定と方法 (1) 1月～6月
(2) 新入会員研修の実施(4回)
(3) 新年互礼会アトラクションへのフォロー及び指導
(4) 理事会へのオブザーブ参加
(5) 3分間スピーチの実施
(6) 岐阜ブロックアカデミー2024への参加
(7) 種別・その他事業

予 算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	100,000	一般会計	100,000
	合計	100,000	合計	100,000

4. 事業名 新入会員による交流会の企画・運営に対する指導
- 目的 青年会議所で得た学びと経験を活かし、新入会員が一丸となって交流会を企画・運営することで信頼と友情を深め、主体的に行動できる人財を創出する。
- 予定と方法 (1) 6月～12月
(2) 議案作成及び議案上程セミナーの実施
(3) 模擬正副理事長会議、模擬常任理事会、模擬理事会の実施
(4) 事業実施準備及び事業報告の指導
(5) 種別・その他事業
5. 事業名 岐阜ブロック協議会との連携
- 予定と方法 (1) その他
6. 事業名 SDGsの推進
- 予定と方法 (1) その他
7. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他

会員拡大委員会 年間事業計画

担当 委員会	人財育成 会員拡大委員会
委員長	山田 邦晶
副委員長	石川 貴之
委員	川瀬 英三朗 ・ 佐々木 掌子 谷口 友樹

基本方針
<p>会員が大垣青年会議所の真の魅力を再認識し、その魅力を候補者に語ることで共感を生み、会員拡大に繋げる。</p>

委員長方針

大垣青年会議所の会員数は今後5年間で半数以上の卒業生が控えています。会員数が減少すると、活動や運動の発信力や影響力も低下します。これらの事実を認識し、大垣青年会議所が継続的な活動と運動を活発に行うためにも、会員一人ひとりが大垣青年会議所の一員として危機感を持ち、継続して会員数を増やす必要があります。そのためにも、これまで培ってきた各関係機関に加え新たな関係機関との連携をはかると共に、大垣青年会議所の会員が一丸となることが重要です。全会員が、候補者を先入観なく見つけ、真の魅力を語ることで、その魅力に候補者が共感し、会員拡大を行います。

<事業計画及び予算>

1. 事業名 3月度例会の企画・運営

目的 会員が候補者に大垣青年会議所の魅力を語り共感を生む場とする。

予定と方法 (1) 3月
(2) 異業種交流会
(3) 種別・その他の事業

	<支出の部>		<収入の部>
予算	事業費 55,000	一般会計 55,000	
	合計 55,000	合計 55,000	

2. 事業名 6月度例会の企画・運営

目的 新入会員候補者を、全員一丸となって入会へ導く場とする。

予定と方法 (1) 6月
(2) 異業種交流会
(3) 種別・その他の事業

	<支出の部>		<収入の部>
予算	事業費 100,000	一般会計 100,000	
	合計 100,000	合計 100,000	

3. 事業名 正会員および賛助会員の募集

目的 大垣青年会議所の魅力に共感し、共に活動や運動をする仲間を募る。

予定と方法 (1) 正会員の募集(1月～7月)
(2) 賛助会員の募集(1月～12月)
(3) 正会員および賛助会員の募集と窓口
(4) 会員拡大実行委員会との連携
(5) 新入会員候補者のオブザーブ参加(2月～7月)
(6) ホームページへの会員募集の掲載
(7) 種別・その他の事業

	<支出の部>		<収入の部>
予算	事業費 85,000	一般会計 85,000	
	合計 85,000	合計 85,000	

4. 事業名 新入会員予定者及び賛助会員予定者の指導及び資格審査
- 目的 大垣青年会議所の事業への参加を通し、明るい豊かな社会の実現に向け、共に活動や運動ができるよう指導を行い、資格を審査する。
- 予定と方法 (1) 7月～12月
(2) 新入会員予定者の資格審査(7月)
(3) 新入会員予定者オリエンテーション開催(7月)
(4) 新入会員予定者の参加対象事業への参加推進及び指導(8月～12月)
(5) 賛助会員予定者の指導(随時)
(6) 新入会員予定者及び賛助会員予定者の最終適正審査(12月)
(7) 新年互礼会に向けた指導
(8) 種別・その他の事業
- 予算
- | ＜支出の部＞ | | ＜収入の部＞ | |
|--------|--------|--------|--------|
| 事業費 | 20,000 | 一般会計 | 20,000 |
| 合計 | 20,000 | 合計 | 20,000 |
5. 事業名 岐阜ブロック協議会との連携
- 予定と方法 (1) その他
6. 事業名 SDGsの推進
- 予定と方法 (1) その他
7. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他

地域みらい創造委員会 年間事業計画

担当 委員会	西美濃連携 地域みらい創造委員会
委員長	長澤 愛樹
副委員長	川瀬 弘樹
委員	渋谷 卓也 ・ 杉江 拓弥 村井 健人

基本方針
「住民が主役のまちづくり」を基点とし、西美濃地域の課題解決と持続的な発展を目指すと共に地域全体での連携をはかる。

委員長方針

地域みらい創造委員会は、地域の課題に向き合い、住民・行政・西美濃地域関係各諸団体と連携し、協働を通じて持続可能な未来を築くための事業を展開し、解決に取り組みます。そして、地域の結束を強化し、住民の生きがい高め、地域の魅力を再生させることを目指すと同時に、地域の特性や資源を活かす取り組みを進めます。そのために、課題解決において、柔軟なアプローチを大切にし、挑戦と成長の機会を提供します。具体的な取り組みや方針策定としては、地域全体の意見を反映させ、情報共有を重視してより透明性と信頼性のある運営を目指します。住民が主役のまちづくりを目指して、会員全員が手を携え、地域と共に歩むことで、地域の未来を輝かせるために邁進します。

<事業計画及び予算>

- 事業名 4月度例会の企画・運営

目的 西美濃地域の住民に、地域の未来を考え、創造する機会を提供する。

予定と方法 (1) 4月
(2) まちづくりコンテスト
(3) 種別・公益事業(公3)

予 算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費		一般会計	
300,000		300,000	
合計	300,000	合計	300,000
- 事業名 西美濃みらい創造報告会

目的 地域の未来を考え、創造したアイデアを共有する機会とする。

予定と方法 (1) 6月
(2) 西美濃の未来の創造に向けた報告書の作成及び発表
(3) その他
- 事業名 8月度例会の運営

目的 地域の特性や資源を活用した事業に参画し、団体の枠を越えた友情を育む。

予定と方法 (1) 8月
(2) 第40回水門川万灯流しへの参加・協力
(3) 種別・その他の事業
- 事業名 10月度例会の運営

目的 地域活性化をはかる事業に参画し、団体の枠を越えた友情を育む。

予定と方法 (1) 10月
(2) 第49回十万石ふるさとまつりへの参加・協力
(3) 種別・その他の事業
- 事業名 西美濃地域関係各諸団体との窓口及び連携

目的 西美濃地域関係各諸団体との円滑な情報共有と協力体制を築く。

予定と方法 (1) 西美濃地域関係各諸団体の各種事業の発信及び参加・協力の依頼
(2) 西美濃地域関係各諸団体との協働
(3) 西美濃地域関係各諸団体への出向者の支援
(4) 西美濃地域関係各諸団体に対する大垣青年会議所事業への参加・協力の依頼
- 事業名 岐阜ブロック協議会との連携

予定と方法 (1) その他

- | | | |
|----|-------|----------|
| 7. | 事業名 | SDGsの推進 |
| | 予定と方法 | (1) その他 |
| 8. | 事業名 | 各委員会との連携 |
| | 予定と方法 | (1) その他 |

西美濃連携推進委員会 年間事業計画

担当委員会	西美濃連携 西美濃連携推進委員会	
委員長	林田 丈祐	
副委員長	新川 聖平	
委員	後藤 孝憲	・ 細川 進
	森 大地	・ 若松 悠平

基本方針
西美濃地域の連携を推進すると共に、新たな広域連携を目指し、住民が主役のまちづくりの実現へ寄与する。

委員長方針

本年度で防災事業は3年目を迎え、大垣青年会議所では、地域住民や行政、社会福祉協議会を巻き込み防災に関する意識を向上させ、災害に対する備えをしています。今後も災害の際の備えとして、住民自身の更なる意識向上を促すと共に、災害時における協力体制に関する協定を結ぶ三者が連携して防災へ取り組んでいくことが必要となります。

また、防災事業にとどまらず、さまざまな手法を用いて、真に地域住民が主体性を持ち、大垣青年会議所だからこそその抱いを理解し、新たな広域連携を模索することが今後の明るい豊かな西美濃地域を実現するうえで重要であると考えます。

当委員会では、地域住民の防災に対する更なる意識の向上を促し西美濃地域の連携を推進する事業を展開すると共に、住民が主役のまちづくりの実現に向けて邁進していきます。

<事業計画及び予算>

1. 事業名 5月度例会の企画・運営

目的 西美濃地域の連携を活かし、地域住民の防災に対する更なる意識の向上を促す機会とする。

予定と方法 (1) 5月
(2) 種別・公益事業(公2)
(3) 短期ビジョン該当項目:災害を見据えた広域連携に向けた取り組み

	<支出の部>	<収入の部>	
予算	事業費 300,000	一般会計 300,000	
	合計 300,000	合計 300,000	

2. 事業名 11月度例会の企画・運営

目的 新たな広域連携を目指し、西美濃地域住民の想いを具現化することで、住民が主役のまちづくりを推進する。

予定と方法 (1) 11月
(2) 種別・公益事業(公3)

	<支出の部>	<収入の部>	
予算	事業費 400,000	一般会計 400,000	
	合計 400,000	合計 400,000	

3. 事業名 真の民主主義社会の推進に関する事業

目的 地域住民が各々の意思を反映できる機会を知ること、住民が主役のまちづくり推進の一助とする。

予定と方法 (1) 岐阜ブロック協議会との連携
(2) 種別・その他の事業

4. 事業名 岐阜ブロック協議会との連携

予定と方法 (1) その他

5. 事業名 SDGsの推進

予定と方法 (1) その他

6. 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

渉外委員会 年間事業計画

担当 委員会	会務運営 渉外委員会
委員長	川口 将輝
副委員長	谷口 太泉
委員	新井 貢 北村 光
	・ 大杉 徹 ・ 中川 彰文

基本方針
会員一人ひとりが、国内外の会員同志との交流を通じて成長できるよう下支えし、迅速且つ正確に魅力的な情報発信に努める。

委員長方針

大垣青年会議所は、創立から今日まで培ってきたネットワークを活かし、活動や運動を行ってきました。今年度は、社団法人花蓮国際青年商會との姉妹締結55周年を迎えると共に、岐阜ブロック協議会の主管LOMとして運営を担うこととなります。これらの事業を軸に、会員一人ひとりが国内外の青年会議所の事業に参加し、会員同志と交流を深めることで新たな知見を得ることができ、今後の事業に対する意識を高めると共に会員の成長や組織の向上に繋がると考えます。渉外委員会は組織内外に目を配り、会員一人ひとりが成長の機会を掴めるように会員一人ひとりに寄り添い、下支えして参ります。
また、大垣青年会議所の活動や運動をHPやSNSを用いて、迅速且つ正確に共感できる魅力ある情報発信に努めて参ります。

< 事業計画及び予算 >

- 1 事業名 9月度例会の運営

目的 岐阜ブロック協議会の事業に参加・協力することで、新たな知見を得て、今後の事業に対する意識を高めると共に会員の成長や組織の向上に繋げる一助とする。

予定と方法 (1) 9月
(2) 岐阜ブロック大会2024への参加・協力
- 2 事業名 広報管理に関する事業

目的 大垣青年会議所の活動や運動を迅速且つ正確に情報発信し、より多くの人に共感できる魅力ある情報を伝える機会とする。

予定と方法 (1) HPの管理・運営
(2) WEB媒体、SNSを利用した情報の発信
(3) 機関誌の発行
(4) 種別・その他の事業

予 算

< 支出の部 >		< 収入の部 >	
事業費	100,000	一般会計	100,000
合計	100,000	合計	100,000
- 3 事業名 JCI、JCI日本の事業の窓口及び参加推進

目的 JCI、JCI日本の事業の窓口として出向者を支援すると共に、出向者と連携して事業への参加を推進し、会員の事業に対する意識の向上に繋げる。

予定と方法 (1) JCI日本 京都会議(1月)京都
(2) 岐阜BC 岐阜会議(2月)岐阜
(3) JCI ASPAC(6月)カンボジア/アンコールワット
(4) 東海DC 東海コンファレンス(7月)岐阜
(5) JCI日本 サマーコンファレンス(7月)横浜
(6) 岐阜BC 岐阜ブロック大会2024(9月)各務原
(7) JCI日本 全国大会(10月)福岡
(8) JCI JCI世界会議(10月)台湾/桃園
- 4 事業名 花蓮JCとの交流に関する事業

目的 花蓮国際青年商會との姉妹締結55周年を通じて、国際理解を深め、より良い友好関係を築き、会員の成長の機会とする。

予定と方法 (1) 花蓮JC姉妹締結55周年事業への参加・協力
(2) 報告書の作成

- | | | |
|---|-------|---|
| 5 | 事業名 | 他LOMとの交流 |
| | 目的 | 他LOMとの交流を通じて、より良い友好関係を築くと共に、志を高め合う機会とする。 |
| | 予定と方法 | (1) JCI鹿児島との防災ネットワークに関する協定の更新(1月)
(2) JCI各務原との交流事業 |
| 6 | 事業名 | 趣味の会の窓口 |
| | 目的 | 趣味の会への参加を促進し、会員の相互理解を深めることで、会員同士の友好関係を築き、今後の活動の活力とする。 |
| | 予定と方法 | (1) 趣味の会の募集・登録窓口 |
| 7 | 事業名 | 岐阜ブロック協議会との連携 |
| | 予定と方法 | (1) その他 |
| 8 | 事業名 | SDGsの推進 |
| | 予定と方法 | (1) その他 |
| 9 | 事業名 | 各委員会との連携 |
| | 予定と方法 | (1) その他 |

総務委員会 年間事業計画

担当 委員会 委員長 副委員長 委員	会務運営 総務委員会 太田 克洋 園田 涼平 多賀 祐人 細野 晃大	・ 藤井 英 ・ 水谷 孔輔
--------------------------------	---	-------------------

基本方針
会員一人ひとりが青年会議所の活動や運動に更に邁進できるよう、自ら率先して行動し公正かつ円滑な組織運営を行う。

委員長方針

大垣青年会議所が今日に至るまで、明るい豊かな社会の実現に向けて、地域に根差した運動を展開してこられたのは、72年間で積み重ねられた組織基盤と円滑な組織運営があったからです。
 昨今の顕著な会員減少や在籍年数の短い会員が増える中、岐阜ブロック協議会の主管LOMを担う2024年度においても、利便性を追求するだけでなく、先達が積み重ねてきた歴史に向き合いながら、組織のあり方を慎重に議論することが重要です。過去を知り、現実を捉え、未来を見据えた組織運営を目指す必要があると考えます。
 創立から脈々と受け継がれる伝統と精神をもとに、会員一人ひとりが青年会議所の活動や運動に更に邁進できるよう、自ら率先して行動し公正かつ円滑な組織運営に努めます。

<事業計画及び予算>

- 事業名 1月度例会の企画・運営

目的 2024年度の大垣青年会議所の方針を対外的に発信すると共に、会員が組織の方向性を共有し、活動と運動への意欲を高める場とする。

予定と方法 (1) 1月
(2) 新年互礼会
(3) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	200,000	一般会計	200,000
合計	200,000	合計	200,000
- 事業名 12月度例会の企画・運営

目的 卒業生から伝統や精神を受け継ぐと共に、卒業生に感謝と労いの想いを伝え、次代へ繋げる場とする。

予定と方法 (1) 12月
(2) 卒業式
(3) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	100,000	一般会計	100,000
合計	100,000	合計	100,000
- 事業名 通常総会及び臨時総会の設営・運営

目的 公正かつ円滑に総会の運営を行う。

予定と方法 (1) 通常総会(1月)及び臨時総会の設営・運営
(2) 議事録の作成
- 事業名 理事会運営に関する事業

目的 各委員会との連携を密に行い、公正かつ円滑な理事会の運営を行う。

予定と方法 (1) 理事会の準備及び設営
(2) 議事録の作成
(3) 理事会資料の配信及び厳格な資料の確認
(4) マニュアルに基づく議案上程の周知
- 事業名 基本資料・定款及び会員名簿の作成と管理に関する事業

	目的	2024年度の大垣青年会議所の情報を資料として公正なる考えの下で編纂し、円滑な活動の一助とする。
	予定と方法	(1) 基本資料の作成・会員名簿の作成 (2) 定款及び運営規則の管理
6.	事業名	大垣青年会議所の運営全般に関する事業
	目的	活発な青年会議所活動・運動を会員が行えるよう、公正かつ円滑な組織運営を行う。
	予定と方法	(1) 例会及び事業等の配布物準備 (2) 各事業及び各委員会の出欠席の管理 (3) 事務局の管理・運営 (4) 弔事に関する運営 (5) 定款・運営規則等の規定の精査・改正 (6) メーリングリストの構築・管理 (7) 情報公開に関する管理 (8) 公益法人格に関する勉強会の開催 (9) その他
7.	事業名	情報管理のための事業
	目的	活動・運動記録を管理することで、大垣青年会議所の歩みを次代へ繋げる。
	予定と方法	(1) 各事業記録の整理・保管 (2) 各事業写真の保管 (3) 議案書の保管 (4) 事業活動アルバム(DVD)の作成及び関連記事の整理
8.	事業名	公益法人格制度に関する運営・手続
	目的	公益法人格の意義を深く理解し、公正かつ円滑な運営・手続を行う。
	予定と方法	(1) 公益法人格取得団体としての運営・手続
9.	事業名	財務管理に関する事業
	目的	厳正な財務管理、資産管理のもと、各委員会と連携し公正かつ円滑な組織運営を行う。
	予定と方法	(1) 一般会計、基金会計、特別会計の管理 (2) 基金運用計画に基づく資金管理 (3) 予算立案に伴う業務 (4) 予算、決算及び各事業の変更に伴う業務 (5) 中間決算及び年度末決算 (6) 預り金の管理
10.	事業名	岐阜ブロック協議会との連携
	予定と方法	(1) その他
11.	事業名	SDGsの推進
	予定と方法	(1) その他
12.	事業名	各委員会との連携
	予定と方法	(1) その他